

# 令和8年度第1回大分県総合教育会議 議事要旨

## 【日程】

日時 令和8年5月22日（金）

開会16時00分 閉会17時00分

場所 県庁本館4階 第一応接室

## 【出席者】

大分県知事 佐藤樹一郎

大分県教育長 山田雅文

大分県教育委員 高橋幹雄

大分県教育委員 鈴木 恵

大分県教育委員 岩武茂代

大分県教育委員 岡田豊弘

大分県教育委員 藤田 敦

## 【協議事項】

義務教育段階からのキャリア教育の充実について

## 【発言要旨】

- こどもの職業理解のため、社会見学や職場体験に加え、出前授業やメディア活用など多様なかたちで職業に触れる機会を確保する必要がある。
- キャリア教育は、単なる進路指導にとどまらず、こどもの生き方や在り方を考えさせる教育であり、こどもが自らの将来像や価値観を形成するうえで不可欠である。
- こどもの職業選択には家庭や身近な大人の影響が大きいことから、親等の身の回りの大人が仕事にやりがいを持って取り組む姿をみせることが重要。
- 基礎的な学力やコミュニケーション能力の育成がキャリア教育の基盤であり、学校・家庭・地域・企業が連携し、こどもが多様な職業観や価値観に触れながら自ら主体的に将来を選択できる環境を整えることが重要。

## 【各委員の主な発言】

(知事)

- 親の仕事をみながら、もう一方でその他の仕事のことも知って新しい視野を広げていくことは非常に役に立つし、こどもの気付きになる。もっと広い範囲でのこどもたちの将来が描ける取組が大事。

(教育長)

- どんな仕事も魅力ややりがい、いいところが必ずある。それを見つけ出してこどもたちに伝え続けることが大事。

(高橋委員)

- 職業に対する理解に加え、その職業に就かなかった場合も違ったものへのひらめきが生まれるため、実体験できる機会の確保は大事。

(鈴木委員)

- 自分で職業選択できるよう、基礎的な学力やコミュニケーション能力、いろいろな知識を学校の段階でしっかりと身に付けさせることが大事。

(岩武委員)

- キャリア教育は、自分がどういう風に生きていくのか、どういうことに幸せを感じるのかを考え、自分の職業等を選んでいくことにつなげていくもの。

(岡田委員)

- キャリア教育を行う上で、親が自分の仕事や職場の不満をこどもに話さないことが大事。やりがいを持って働く姿をみせることが、こどもの将来につながっていく。

(藤田委員)

- 大人が普段から生き生きと楽しく働いてる姿をみせることが、一番のキャリア教育。